

厚生労働省和歌山労働局発表  
平成23年10月28日  
午後2時

担当	厚生労働省和歌山労働局
	職業安定部職業安定課
	課長 山下 博己
	労働市場情報官 石川 正義
TEL	073-488-1160
FAX	073-475-0115

## 一般職業紹介状況(平成23年9月分)

**有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.02ポイント低下の0.70倍で、2か月ぶりに前月を下回った。**

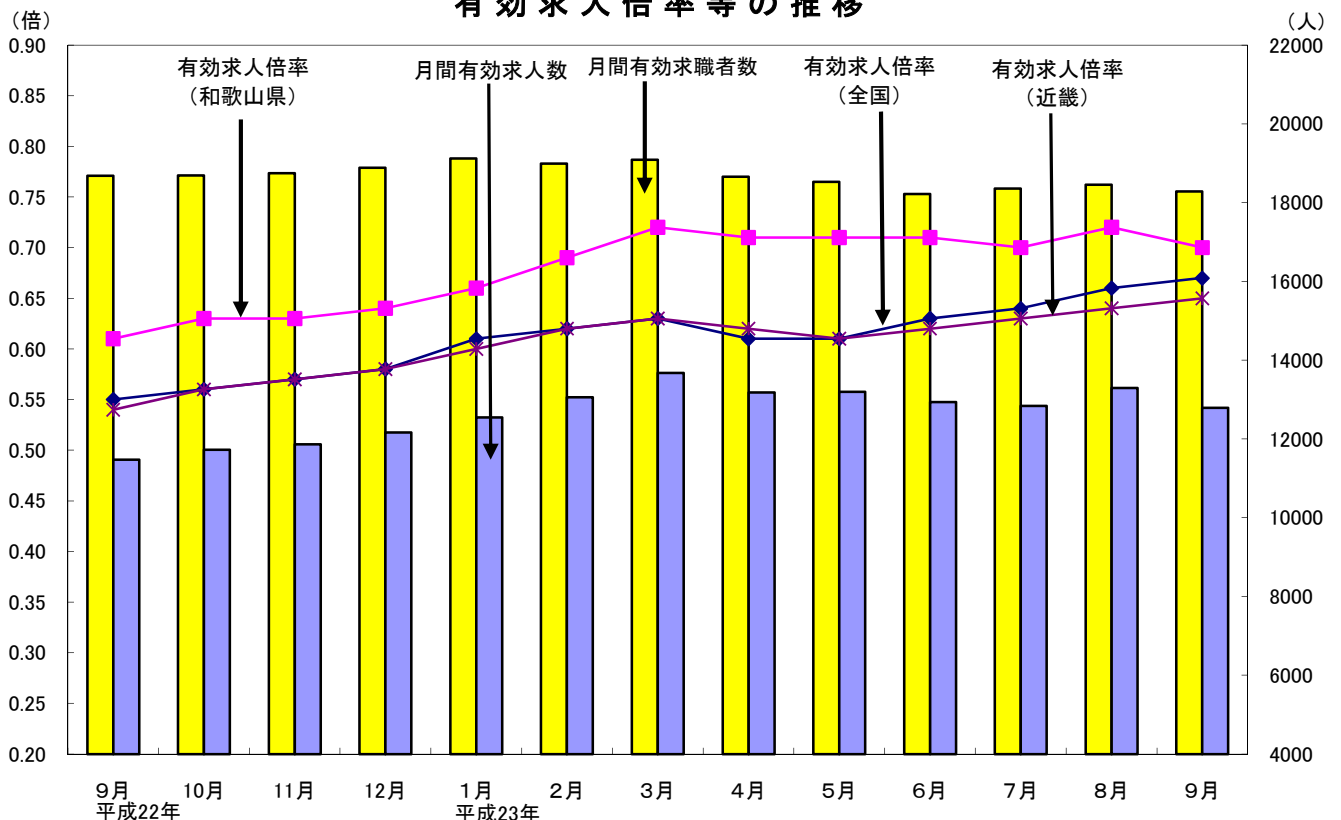
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.67倍で、前月より0.01ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.65倍で、前月より0.01ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は1.17倍で、前月より0.07ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比2.4%減。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比10.5%減。

### 有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。  
季節調整値の平成22年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。  
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

## 1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.07ポイント上昇の1.17倍で、2か月連続で前月を上回った。

有効求人倍率(季節調整値)は0.70倍となり、前月を0.02ポイント下回った。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.05ポイント上昇の0.38倍で、15か月連続で前年同月を上回った。

## 2 求人の動き

- (1) 新規求人数(原数値)は5,308人で、前年同月比2.4%減(19か月ぶり減)となった。  
有効求人数(原数値)は13,437人で、前年同月比11.6%増(17か月連続増)となった。
- (2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、  
「医療,福祉」(87人増)、「建設業」(49人増)などで増加し、一方、「卸売業,小売業」(67人減)、「サービス業」(66人減)、「教育,学習支援業」(56人減)、「生活関連サービス業,娯楽業」(43人減)、「複合サービス事業」(31人減)などは減少した。
- (3) 一般、パート別で新規求人の状況をみると、一般求人数は3,012人で前年同月比9.4%減、パート求人数は2,296人で前年同月比8.6%増となった。

## 3 求職者の動き

- (1) 新規求職者数(原数値)は4,423人で、前年同月比10.5%減(2か月ぶり減)となった。  
有効求職者数(原数値)は18,628人で、前年同月比1.9%減(6か月連続減)となった。
- (2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は849人で前年同月比15.5%減(2か月ぶり減)、離職者は2,690人で同12.8%減(8か月連続減)となり、離職者のうち事業主都合離職は666人で同4.3%減(2か月ぶり減)、自己都合離職は1,819人で同14.4%減(6か月連続減)、また、無業者は836人で同7.2%増(28か月連続増)となった。
- (3) 雇用保険の受給者実人員は4,773人で、前年同月比2.3%減(19か月連続減)となった。

## 4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,664人で、前年同月比10.5%減(2か月ぶり減)となった。

## 5 まとめ

新規求人数は減少(微減)に転じたが、有効求人数は連続して前年を上回っていることなど、求人の動向については明るい要素が目立っていることから、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きが続いている。